

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



9月の「敬老月間」に合わせ、片山市長らが長寿者を祝福する慶祝訪問を実施。100歳以上の長寿者を訪ね、記念品を手渡しながらかの言葉を掛けました。(9月2日、市内各所)



「子ども芸術祭」で子どもたちの入賞・入選した書と絵画を展示する「子ども美術展」と、日頃の練習の成果を発表する「子どもステージ」を開催。(8月31日～9月1日、市民会館)



西脇多料飲組合主催の料理教室で、19人がローストビーフ作りに挑戦。西脇ローストビーフ部会から作り方とアレンジ料理を学びました。(9月4日、茜が丘複合施設みらいえ)



日野小3年生30人が地域住民とともに育てた金ゴマを収穫。同校は授業に食の大切さを学ぶ農業体験を取り入れており、金ゴマの栽培に初挑戦しました。(9月3日、日野小学校)

新庁舎・市民交流施設起工式—令和3年春完成予定

〔9月4日 新庁舎・市民交流施設建設予定地 (下戸田)〕



新しい施設は庁舎棟や市民交流施設、(仮称)地域包括支援センター棟などからなり、延べ面積約1万3千㎡

新庁舎・市民交流施設の起工式で、市職員や市議会議員、地域住民、施工業者ら約80人が工事の安全を祈願。片山市長は「単に市役所と市民会館を移設させるだけでなく、地域全体を利便性の高いエリアとして再生させ、地域全体が活性化するための契機にしたい」とあいさつしました。

人権文化の花を咲かそう—8地区で人権教育講演会

〔8月 市内各所〕



ダイアン吉日さんは世界61カ国を回った経験をもとに、日本の良さや世界との違いを紹介

8月の「人権文化をすすめる市民運動推進調月間」に合わせ、市内8地区で人権教育講演会を開催。重春地区では、小中学生による人権作文の朗読に続き、イギリス出身の落語家・ダイアン吉日さんが「笑いで世界をひとつに」と題して講演し、落語を交えた巧みな話術で参加者の笑いを誘いました。

敬老の日プレゼント作りに挑戦

〔9月14日～15日 茜が丘複合施設みらいえ〕



14日午後の工作教室には子ども30人と保護者が参加

9月16日の「敬老の日」を前に、祖父母へのプレゼント作りの工作教室を開き、参加した親子がメッセージ付きのハンカチや似顔絵を描いた眼鏡置きなどを制作。「いつも遊んでくれてありがとう」や「いつまでも元気でいてね」などと祖父母に宛てたメッセージカードを添えて完成させました。



ダンスコンテスト「加杉野おどり」(25日)



播州織のファッションショー「ヘソコレ」(25日)



織殿神社での「織物感謝祭」(25日)



夜店が軒を連ねる会場でそぞろ歩きを楽しむ親子連れや若者ら(24日)



夜空を彩る約2千発の打ち上げ花火(24日)



友好の絆を確かめる「採火式」(24日)

2日間にわたり、「第14回へその西脇・織物まつり」が開催されました。8月24日の前夜祭では、双葉小と比延小の児童と西脇東中の生徒が演奏を披露。本市の友好都市・北海道富良野市から公式訪問団をお迎えし、「採火式」で友好の絆を確かめました。25日の「織物感謝祭」では、製織の儀と手織機の奉納が執り行われ、関係者が播州織の振興を祈願。本祭ではダンスや音楽のコンテスト、西脇高校と上田女子服飾専門学校による播州織のファッションショーなどを開催。両日で計2,500発の花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。

まちに熱気—第14回へその西脇・織物まつり
〔8月24日～25日 日本へそ公園、織殿神社、総合市民センター〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!